

公表

## 事業所における自己評価結果

公表日

2026年 3 月 31 日

事業所名		放課後等デイサービス ぐりーんあつがる白石教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用定員とスペースのバランスを考慮し、活動内容に応じたグループ分けや時間調整を行い、過密にならないよう環境づくりに努めている。	一部に狭さを感じる意見があるため、利用人数や活動内容に応じた空間の使い分けをより工夫し、安全で落ち着いた環境の確保を強化する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	配置基準を満たした上で、児童の特性や活動内容に応じて職員配置を調整し、安全で丁寧な支援が行える体制づくりに努めている。	現状は適切に配置されているが、今後も利用児童の増加や特性の変化に応じて柔軟に配置を見直し、支援の質の維持と向上に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	活動ごとのスペース分けや視覚的支援を取り入れ、児童が見通しを持って行動できるよう環境設定の工夫を行っている。	環境のわかりやすさに課題があるため、視覚支援や動線の明確化をさらに進め、障害特性に応じた環境整備の充実に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	日常的な清掃や消毒を徹底し、活動内容に応じた空間設定を行うことで、児童が安心して快適に過ごせる環境づくりに努めている。	現状は適切に維持されているが、今後も衛生管理を継続し、季節や活動内容に応じた環境調整を行い快適性の向上に努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	児童の状態や必要に応じて個別に過ごせるスペースを確保し、落ち着いて活動できる環境づくりに努めている。	現状は適切に対応できているが、今後も児童の特性や状況に応じて柔軟に環境を調整し、より安心して過ごせる体制の維持に努める。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	職員会議や日々の振り返りを通して、目標設定と評価を行い、職員全体で改善に取り組む体制づくりに努めている。	現状は職員が参画しているが、記録の活用や共有方法をさらに工夫し、より効果的な業務改善につなげていく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者評価や日々のやり取りを通して意向を把握し、職員間で共有することで業務改善につなげる取り組みを行っている。	一部に改善の余地があるため、評価結果の分析と具体的な改善策の明確化を進め、保護者の意向をより反映した運営に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	定期的な会議や日々の情報共有を通して職員の意見を把握し、現場の声を業務改善に反映する取り組みを行っている。	現状は適切に行われているが、意見の記録や共有方法をさらに工夫し、より効果的な業務改善につなげていく必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	外部の視点を取り入れる機会を設け、評価結果を参考にしながら業務改善につなげる取り組みを行っている。	外部評価の実施や活用にはばらつきがあるため、定期的な実施体制の整備と評価結果の共有を進め、継続的な改善につなげていく。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	内部研修や外部研修への参加機会を設け、職員の専門性向上と支援の質の向上に努めている。	研修機会にばらつきがあるため、計画的な研修体制の整備と参加機会の均等化を図り、職員全体の資質向上を促進する。もう少し研修の機会があれば良いと思う
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムを適切に作成し、公表することで、提供する支援内容を保護者にわかりやすく伝えるよう努めている。	現状は適切に実施されているが、より理解しやすい内容や表現となるよう工夫し、情報発信の質の向上に努めている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	日々の観察や面談を通してアセスメントを行い、児童と保護者のニーズを踏まえた個別支援計画の作成に努めている。	現状は適切に実施されているが、アセスメントの精度向上と記録の充実を図り、より質の高い計画作成につなげていく必要がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に、関係職員で情報共有を行い、児童の最善の利益を考慮した計画作成に努めている。	職員間の共有にばらつきがあるため、会議や記録の活用を強化し、全職員が共通理解のもとで計画作成に関われる体制づくりを進める。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個別支援計画を職員間で共有し、日々の支援に反映することで、計画に沿った一貫性のある支援の実施に努めている。	現状は適切に実施されているが、共有方法や確認体制をさらに工夫し、支援の質の維持と向上につなげていく必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の行動観察に加え、必要に応じて標準化されたツールも活用し、児童の適応行動を多面的に把握するよう努めている。	現状は適切に実施されているが、アセスメント結果の記録や活用方法をさらに工夫し、支援への反映をより明確にしていける必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに基づき、本人・家族・移行・地域連携の視点を踏まえ、児童に必要な支援内容を具体的に設定するよう努めている。	現状は適切に設定されているが、支援内容の具体性や実効性をさらに高め、よりわかりやすい計画となるよう工夫を進める。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	職員間で意見を出し合いながら活動プログラムを立案し、児童の発達や興味に応じた内容となるよう工夫している。	現状はチームでの立案が行われているが、記録や振り返りをさらに充実させ、より質の高いプログラムづくりにつなげていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	児童の興味や発達段階に応じて多様な活動を取り入れ、内容が固定化しないよう工夫しながら支援を行っている。最近では色んな活動を行っていると思う。	現状は適切に実施されているが、より多様な活動を取り入れるため、外部資源の活用や新たなプログラムの導入を検討していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	児童の特性や発達段階に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、バランスの取れた支援となるよう計画・実施している。	現状は適切に実施されているが、児童の変化に応じた活動の見直しを行い、より効果的な支援につなげていく必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	支援開始前に職員間で打合せを行い、支援内容や役割分担を確認することで、チームで連携した支援の実施に努めている。	現状は適切に実施されているが、打合せ内容の記録や共有方法を工夫し、より確実な連携体制の維持と向上に努める。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	支援終了後に職員間で振り返りを行い、気づきや課題を共有することで、次の支援に活かす体制づくりに努めている。	現状は適切に実施されているが、振り返り内容の記録や活用方法をさらに工夫し、支援の質向上につなげていく必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援内容を記録し、職員間で共有することで、支援の振り返りや改善につなげる取り組みを行っている。	現状は適切に実施されているが、記録内容の質や活用方法をさらに工夫し、より効果的な支援改善につなげていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを実施し、児童の変化や課題を把握した上で、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っている。	現状は適切に実施されているが、モニタリング結果の共有や活用をさらに工夫し、より効果的な支援につなげていく必要がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	2	自立支援・創作活動・余暇活動等を組み合わせ、児童の発達や興味に応じた多面的な支援が行えるよう工夫している。	活動の組み合わせにばらつきがあるため、4つの基本活動を意識した計画的なプログラム構成を行い、支援内容の充実を図る。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動内容や選択肢を提示し、児童が自ら選べる機会を設けることで、主体性や自己決定力の育成に努めている。	現状は適切に実施されているが、選択の幅や提示方法をさらに工夫し、より主体的な行動につなげていく必要がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童の状況を十分に把握している職員が会議に参加し、適切な情報共有と連携強化に努めている。	現状は適切に参画できているが、会議内容の共有や記録の活用をさらに工夫し、支援の質向上につなげていく必要がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保健・医療・福祉・教育機関と連携し、情報共有を行いながら児童に一貫した支援を提供できる体制づくりに努めている。	現状は適切に連携できているが、情報共有の方法や頻度をさらに工夫し、より密な連携体制の強化が必要である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校と年間計画や下校時刻等の情報を共有し、送迎やトラブル時の連絡調整を行い、円滑な支援連携に努めている。	現状は適切に実施されているが、情報共有の精度や連絡体制をさらに工夫し、より確実で迅速な対応につなげていく必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	就学前に利用していた関係機関と情報共有を行い、児童の特性や支援内容の理解を深めることで、継続的な支援に努めている。	現状は適切に実施されているが、情報共有のタイミングや内容をさらに工夫し、より円滑な支援の引継ぎにつなげていく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	卒業後の移行に向け、これまでの支援内容や特性を整理し、関係機関へ情報提供を行うことで円滑な移行支援に努めている。	一部に不十分な点があるため、情報提供の方法や時期を見直し、より確実で丁寧な引継ぎ体制の整備が必要である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	必要に応じて児童発達支援センターと連携し、助言や情報提供を受けながら支援の質向上に努めている。	連携機会にばらつきがあるため、定期的な相談や研修参加の機会を確保し、より専門性の高い支援体制の強化が必要である。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	外出活動等を通して地域との関わりを意識し、社会参加の機会づくりに努めている。	交流機会が十分でないため、児童クラブや児童館との連携を強化し、他児との関わりを計画的に設けていく必要がある。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	可能な範囲で協議会等への参加を行い、地域の情報収集や関係機関との連携強化に努めている。	参加状況にばらつきがあるため、計画的な参加体制を整備し、地域との連携強化と情報共有の充実を図る必要がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々の連絡や面談を通して児童の状況を保護者と共有し、発達や課題について共通理解を持てるよう努めている。	現状は適切に実施されているが、情報共有の質や方法をさらに工夫し、より深い共通理解につなげていく必要がある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	保護者への情報提供や相談対応を通して家庭での関わりを支援し、家族の対応力向上につながる支援に努めている。	現状は実施しているが、研修機会の充実や内容の周知を強化し、より多くの保護者が参加しやすい体制づくりが必要である。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時等に運営規程や支援内容、利用者負担について丁寧に説明し、安心して利用できるよう配慮している。	現状は適切に実施されているが、より理解しやすい説明方法や資料の工夫を行い、保護者の理解促進につなげていく必要がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	面談等を通して児童や保護者の意向を確認し、最善の利益を考慮した個別支援計画の作成に努めている。	現状は適切に実施されているが、意向確認の機会や方法をさらに工夫し、より丁寧な支援につなげていく必要がある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	個別支援計画を示しながら支援内容を丁寧に説明し、保護者の理解と同意を得た上で支援を実施している。	現状は適切に実施されているが、説明方法や資料の工夫を行い、よりわかりやすい説明と理解促進につなげていく必要がある。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	日常的な相談や面談を通して保護者の悩みに寄り添い、必要に応じて助言や支援を行う体制づくりに努めている。	現状は適切に対応できているが、相談機会の周知や利用しやすい環境づくりをさらに進め、より安心して相談できる体制の充実が必要である。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4	個別の相談対応や情報提供を通して、保護者支援を行い、家庭全体を支える支援に努めている。	交流機会が十分でないため、保護者会や交流の場の開催を検討し、家族同士のつながりを支援する体制づくりが必要である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	相談対応体制を整備し、日常的なやり取りを通して周知を行い、相談や申入れに迅速かつ丁寧に対応している。	現状は適切に対応できているが、相談窓口や対応方法の周知をさらに強化し、より安心して相談できる体制の充実が必要である。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	通信やSNS等を活用し、活動内容や行事予定を定期的に発信することで、保護者が状況を把握しやすいよう努めている。	現状は適切に実施されているが、発信内容や更新頻度をさらに工夫し、よりわかりやすくタイムリーな情報提供につなげていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取扱いについて職員間で共有し、管理体制を整備することで、情報漏洩防止と適切な取扱いに努めている。	現状は適切に管理されているが、定期的な確認や研修を行い、職員の意識向上と再発防止の徹底を図る必要がある。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	児童の特性に応じた伝え方や視覚的支援を取り入れ、保護者とも丁寧な情報共有を行うことで、円滑な意思疎通に努めている。	現状は適切に実施されているが、個々の特性に応じた対応方法をさらに工夫し、よりわかりやすい情報伝達につなげていく必要がある。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	現状は限定的ではあるが、地域との関わりを意識し、外出活動や地域資源の活用を通して社会参加の機会づくりに努めている。	地域に開かれた運営が十分でないため、行事への地域参加の機会づくりや交流の場の設定を検討し、地域との連携強化が必要である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを整備し、職員間で共有するとともに、訓練を実施することで、緊急時に適切に対応できる体制づくりに努めている。	現状は適切に実施されているが、保護者への周知方法を工夫し、訓練内容や対応体制の理解促進を図る必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害を想定した避難訓練等を定期的実施し、緊急時に備えた体制づくりに努めている。	現状は適切に実施されているが、訓練内容の見直しや実効性の向上を図り、より実践的な対応力の強化につなげていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	服薬や既往歴、発作の有無等を事前に把握し、保護者からの情報共有をもとに安全に配慮した支援に努めている。	現状は適切に確認できているが、情報の更新や共有体制をさらに強化し、より確実な安全管理につなげていく必要がある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	医師の指示書や保護者からの情報をもとに、食物アレルギーへの適切な対応を行い、安全確保に努めている。	現状は適切に対応できているが、職員間の情報共有や確認体制をさらに強化し、より確実な事故防止につなげていく必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	安全計画を策定し、研修や訓練を通して職員の意識向上を図り、安全管理体制を整えた上で支援を実施している。	現状は適切に実施されているが、計画内容の見直しや研修の充実を図り、より実効性の高い安全管理体制の強化が必要である。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	安全計画に基づく取組内容について、連絡や説明を通して保護者へ周知し、安全確保に関する連携強化に努めている。	現状は適切に周知できているが、より理解しやすい説明方法や情報発信の工夫を行い、連携の質向上につなげていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	ヒヤリハット事例を職員間で共有し、原因分析と再発防止策の検討を行い、安全意識の向上と事故防止に努めている。	現状は適切に実施されているが、記録の活用や振り返りの精度を高め、より実効性のある再発防止策につなげていく必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	虐待防止に関する研修を実施し、職員の意識向上と適切な支援の徹底を図ることで、安全な支援環境の確保に努めている。	現状は適切に実施されているが、継続的な研修や振り返りの機会を充実させ、より高い意識と対応力の維持・向上が必要である。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束の必要性や対応について組織的に検討し、事前に保護者へ説明し同意を得た上で、個別支援計画に明記するよう努めている。	一部に不十分な点があるため、説明や記録の徹底を図り、職員間での共通理解を強化し、適切な運用体制の確立が必要である。